

別表第1（第5条関係）

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	生保内公園施設維持管理事業				
担 当 課 係 名	都市整備 課		住宅公園 係	作成者	高橋貞二
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち			総合計画の ページ
	基本計画	公園や緑地の整備			
	主要施策	都市公園の管理と利用促進			81
予 算 費 目	一般 会計	8 款 土木費	4 項 都市計画費	4 目	公園費
事 業 期 間	平成 年度 ～ 平成 年度		新規／継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	仙北市都市公園条例				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民並びに来訪者
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	市民の憩いの場、レクリエーションの場として、市民が快適で楽しく利用できる環境づくりに努める。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	施設の維持管理業務を実施する。維持管理業務（公園内の草刈り、トイレ清掃、樹木の冬囲い）は、シルバー人材センターに委託している。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	維持管理実日数	目標	日	235	235	235	
			実績	日	235	235	235	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	市民1人あたりの公園面積	目標	m ²	4.32	4.32	4.32	
			実績	m ²	4.32	4.39	4.45	
			達成度	%	100.0%	101.6%	103.0%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				1,328	2,500	1,269	
	人 件 費 (B)		—		157	404	159	
	職 員 数		—		0.02	0.05	0.02	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				1,485	2,904	1,428	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				1,485	2,904	1,428
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		6,319	12,357	6,077
市民1人当たりのコスト(円)		—		47	92	46		

【事務事業の今までの成果】

憩いの場として、心地よく利用できる環境を提供している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	緑化については、地球温暖化の視点から推進が求められている。 県の「水と緑の森づくり税」を活用した施設整備の予定がある。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	つつじの樹勢維持管理（施肥、剪定等）にもっと取り組んでもらいたい。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
C 2	A 現状のまま継続（実施）	維持管理を委託しているが、面積が広い ため園内の草刈り作業、トイレの清掃が主 になっており、植木などの管理が十分に出来 ない状況であり、C 2 判定とした。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

生保内公園愛護会の協力を得て植木の管理を進める。
「水と緑の森づくり税」を活用した施設整備を進める。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
C 2	維持管理経費の圧縮や利便性と安全な利用の確保に努めながら、地域の憩いの場として親し みを持っていただくことを目指して事業を継続すべきと考えます。

一次評価診断図

